

第15期(2015/1/1～2015/12/31)営業報告
及び
第16期(2016/1/1～2016/12/31)経営方針

2016年3月14日

株式会社アーネスト・ビジネス・ソリューション

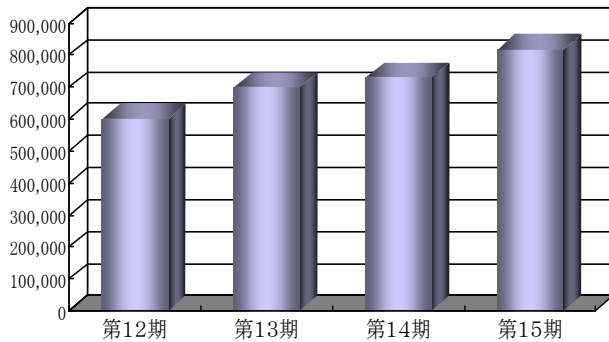
● 営業実績・推移

第15期において、前期に継続し単年度黒字化を達成、株主様への配当を実施いたしました。

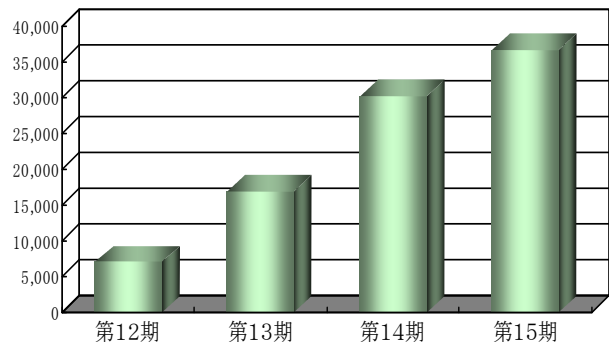
(単位 千円)

部門	年度	第12期 自 2012/1/1 至 2012/12/31	第13期 自 2013/1/1 至 2013/12/31	第14期 自 2014/1/1 至 2014/12/31	第15期 自 2015/1/1 至 2015/12/31
売上高		600,176	700,239	730,050	818,495
経常利益		7,029	16,844	30,175	36,619
当期純利益		3,770	7,083	19,629	23,484
1単元株当り当期純利益		4.18	7.85	21.68	25.94
1単元株当り純資産額		150.2	158.2	177.2	183.5
総資産額		279,215	318,680	387,248	387,182
純資産額		135,463	142,685	160,377	166,147
発行済株式数		9,084株	9,084株	9,084株	9,084株

(注) 1単元は10株。第15期末時点の単元株個数は905個。第15期末時点の発行済株式数には自己株式数800株を含む。



売上高推移



経常利益推移

● 活動概況

- 2015/ 1 日本経済新聞に「eSCOFI」関連記事掲載
- 2015/ 1 住信SBIネット銀行様の住宅ローンシステム基盤更改案件が完了
- 2015/ 7 某金融機関様のインターネットバンキングシステムの基盤更改案件が完了
- 2015/ 8 日本産業新聞8月27日号に「eSCOFI」の次期バージョン (Ver.3.0) 並びにクラウドサービスに関する紹介記事掲載
- 2015/ 9 「eSCOFI」の次期バージョン (Ver.3.0) 並びにクラウドサービス提供開始
- 2015/ 9 金融総合専門誌ニッキン9月4日号「eSCOFI」の次期バージョン (Ver.3.0) 並びにクラウドサービスに関する紹介記事掲載
- 2015/10 NTTコムウェア株式会社様と「innoRules」の二次販売代理店契約を締結
- 2015/12 「eSCOFI」が某銀行様の住宅ローン業務向けに導入、サービス開始
- 2015/12 「FinTech」への端緒として、キャラクター連動型の金融取引支援システムに係る特許を出願

ほか

● 営業目標 (2016年1月1日～2016年12月31日)

- 売上目標 110,000万円 前期比 + 34%
- 営業利益目標 10,000万円 前期比 + 177%
- 社員数 70名 前期比 + 27%

(注) 社員数は、期末時点の常勤役職員数であり、契約社員、受入出向者等は含みません。

● 事業方針—今期の取り組み

● 内部統制の強化

コンプライアンスにかかる活動の実践といたしましては、プライバシーマークの更新申請、およびISMSの更新審査の合格を得て一定の成果を残すことができました。また、衛生委員会の運営、弁護士や社会保険労務士との顧問契約の維持によるリーガル面での体制強化などを通してコンプライアンスの向上を図ってまいりました。

来期も引き続きこれらの適切な運用に努めることにより、更なるコンプライアンスの向上に取り組んでまいります。

● 中期経営計画について

来期もIT業界を取り巻く環境は依然として厳しいものとの認識ですが、第四次中期計画達成の為に、eSCOFI(Ver.3.0、クラウド版を含む)、eSCOFI-ATLASを軸としたパッケージ販売に加え、FinTech活用等による新規ビジネスモデルの創出を含めたソリューション事業の成長が大きな鍵であり、引き続き内部体制の強化に努めるとともに社外の有識者、支援者の協力も得て、目標の実現に邁進する所存であります。

また、大手のSIer様やコンサルファーム様、エンド・ユーザ様との連携、深耕も積極的に行い、開発案件の確保に努めるとともに、新たな人材の採用により外注依存度を下げ、利益水準を底上げし初年度の目標を達成すべく全社一丸となって取り組んでまいります。

人材投資、開発投資、営業開拓の何れにおいても経営資源の選択と集中を行い、スピード感をもって柔軟な組織運営にあたり、利益創出型の「強小企業」となるとともに、金融ITソリューション・ベンダーとしての「The one and only!」を目指してまいります。

● 組織・体制について

来期の組織体制としては、当期の組織体制を維持しつつ、収益管理の一元化、臨機応変な要員配置、採算性の維持・向上を図ってまいります。

● 第15期体制について

組織図

